

目次

序
目次

地理編

地理編 凡例	2
第一章 小平市の地理的環境	
第一節 小平市の位置と気候の概要	3
1 ゆるやかな傾斜の上に	3
2 気候(気温・降水量・風)	5
3 気候区分	9
4 二百十日・二百二十日	11

第二章 小平市の地形と地質

第一節 武蔵野台地における小平市

- 1 地形と関東ローム層……………13
- 2 丘陵地の地形と地質……………15
- 3 台地(段丘面)の地形と地質……………17
 - 下末吉段丘面 武蔵野段丘面群(武蔵野面群) 立川段丘面群(立川面群)

第二節 小平市の地形と地質についての詳細

- 1 武蔵野段丘面(武蔵野面)……………29
 - 地形・地質断面図から見た小平市
- 2 浅皿状窪地……………35
 - 細長い浅皿状窪地 武蔵野の逃水 円形の浅皿状窪地 天神窪 山王窪とその南方の窪
 - 鷹の台駅北方にある窪 平安窪 浅皿状窪地の水害

第三章 土と水

第一節 水と台地

- 1 降水と自由地下水水面の関係……………43
- 2 自由地下水の流動……………45

第二節 地表から地下水面までの深さ.....	48
1 地下水位が最も高い時期と低い時期の地下水面までの深さ.....	48
第三節 地下水の水温と電気伝導度.....	50
1 地下水の水温.....	50
2 地下水の電気伝導度.....	52
第四章 自然災害	
第一節 雹による被害.....	55
第二節 地震と火山による災害.....	56
1 地震による災害.....	56
2 小平市周辺の活断層.....	57
3 火山活動による災害.....	60
地理編 参考文献.....	62

考古編

考古編 凡例……………

はじめに……………

第一章 鈴木遺跡 —— 旧石器時代の生活痕跡と近世以降の水車小屋 ——

第一節 遺跡が見つかる……………

1 発見前史……………

①「回田遺跡」の発見

②市内最初の発掘調査

③遺物と地層

2 予備調査……………

第二節 発掘調査が行われる……………

第一期 大規模開発の時期（昭和四九年八月～昭和五八年）

1 鈴木小学校地点……………

①A地点

②B地点

③D地点

④遺跡範囲確認調査

2 農林中央金庫テニスコート地点（X地点）……………

3 都道2・1・3号線地点……………

①流域下水道地区（C地点およびその周辺 その1）

②流域下水道地区（C地点およびその周辺 その2）

③都道北側地区

④都道南側地区

88

86

77

76

74

69

69

65

64

4	三共グラウンド西北側研修所地点	92
5	安田電研地点	93
6	住宅・都市整備公団地点	94
	①公団住宅建設予定地部分	
	②用水路部分	
7	日立電子和敬寮地点	96
8	御幸第Ⅰ地点(日立電子小金井工場構内)	97
9	地下通学路地点	99
	第2期 遺跡範囲確認の時期(昭和六一年～平成二年)	
1	昭和六一年度範囲確認調査	100
2	昭和六二年度範囲確認調査	100
3	昭和六三年度範囲確認調査	100
	①第一地点	
	②第二地点	
4	平成元年度範囲確認調査	101
5	平成二年度範囲確認調査(第一地点)	101
	第3期 中・小規模開発の時期(平成二年～平成一八年)	
1	農林中央金庫研修所北側道路地点	102
	①予備調査	
	②第一地点	
	③第二地点	
2	三共グラウンド南側擁壁地点	105

	①予備調査	②東側部分	③個人住宅部分	④西側部分
3	国栄マンション地点……………			
	①予備調査	②本調査		
4	あおぞら福祉センター地点……………			
	①予備調査	②本調査		
5	回田82番地地点……………			
	①予備調査	②本調査		
6	回田325番地地点……………			
	①予備調査	②本調査		
7	誠賀建設地点……………			
	①範囲確認調査	②予備調査	③本調査	
8	セブナイレブン地点……………			
9	市内遺跡調査地点……………			
第4期	調査の中絶と再開発の時期(平成一九年と平成二四年)			
1	御幸第Ⅱ地点……………			
2	ヤオコー地点……………			
第三節	わかったこと、その後……………			

1	後期旧石器時代……………	120
	①時代相 ②遺跡 ③遺構 ④遺物 ⑤成果と課題	
2	縄文時代……………	126
	①時代相 ②遺跡と遺構 ③遺物 ④成果と課題	
3	江戸時代後期——水車遺構……………	130
	①遺構 ②遺物 ③成果	
4	江戸時代後期から明治時代初期——「烏犀圓」銘合子蓋……………	135
	①出土資料 ②関連資料	
5	第二次世界大戦前——「納税／完納賞」の銘を有する磁器碗……………	136
	①分類 ②他地域の類例 ③写真資料 ④新聞記事 ⑤完納賞碗の年代	
6	第二次世界大戦前／後——統制陶磁器（生産者別表示記號付陶磁器）と子ども茶碗……………	145
	①統制陶磁器 ②子ども茶碗	
	第二章 八小遺跡——奈良時代の竪穴住居跡——	
	第一節 遺跡が見つかる……………	148
	第二節 発掘調査が行われる……………	149
	1 法的手続き……………	149

2	現地での発掘調査	149
3	遺跡の立地と範囲	150
4	発見された遺構	151
5	出土した遺物	152

第三節	わかったこと、その後	154
-----	------------	-----

第三章 小平市内の道路遺構 —— 奈良時代の官道 東山道武蔵路 ——

第一節	遺跡が見つかる	156
-----	---------	-----

第二節	発掘調査が行われる	157
-----	-----------	-----

1	平成一〇年度第一地点(上水本町地点)	157
2	平成一〇年度第一〇地点(原島農園地点)	159
3	平成一一年度小川東町二丁目小川団地内地点	159

第三節	わかったこと、その後	161
-----	------------	-----

第四章 花小金井南遺跡

第一節 遺跡の発見と調査

第二節 わかったこと、その後

1 堆積状況

2 遺構

3 遺物

4 その後の処置

第五章 その他の遺跡

第一節 小川三番遺跡

1 遺物が見つかる

2 見つかった遺物について

第二節 小平市新庁舎建設用地の確認調査

1 発掘調査が行われた経緯と方法

2 発掘調査の結果

小平の発掘調査、これから——結びにかえて……………173

考古編 参考文献……………174

民俗編

民俗編 凡例……………180

第一章 半世紀の変容と民俗——序にかえて——

第一節 地域の概要……………183

1 五十年のちに……………183

北多摩地域のほぼ中央に 語られてきた小平

2 近世開拓の村……………188

近世以前 市域の境

第二節 地域のなかの自然……………194

1 ローム層の土……………194

農道のカーペット 赤い烈風

2 木々のなかの農家

ケヤキのトンネル

第三節 記憶と伝承 —— 口碑の時代性と社会性 ——

1 古老の世代

さえぎるものがない視界

都市近郊の農業

ある古老の手記から

神かくし

震災の記憶

太鼓の音

2 戦後という時代

混乱のなかで

闇と配給

迫られる選択

雑穀といも

ひまのない農事暦

3 想起される風景

回想の少年時代

かつての間取り

屋敷とそのまわり

歴史の痕跡

いくつかの作文から

4 氏神の社の四半世紀

正月風景

地域と神社

第四節 町から市へ

1 シンボルの創出

丸ポスト

ブルーベリー栽培

「ふるさと」の確認

235

235

231

220

212

202

202

200

第二章 農耕生活にみる暮らし —— 一年の家計 ——

第一節 農家の収支……

1 「金銭出入覚帳」から……

つづらの中の帳面 正月から春先まで 出費の傾向

2 収入からみる農業経営……

軸としての蚕 小麦 竹と樹木 こまこまとした収入 出荷と入金のリズム

3 出費、入金の項目にみる諸相……

養蚕 上簇、マユ掻きの雇い さつまいも 竹、木、萱 草箒作り 肥料 つきあい 食関係
着用具 生産生活用具 医療関係

第二節 変化の中の営農 —— 昭和初期～四十年代 ——

1 農地が売り物に……

農家の選択

2 ある農家の家計の変容……

養蚕稼ぎ さつまいもの出荷 焼きいも屋を始める 茶作り し尿汲み取り 模索と挑戦

3 多彩な農家経営とその変容……

実家の様々な稼ぎ 嫁として マンション・貸家経営へ 農家としてのつきあいの出費

第三章 暮らしの空間 —— 生活の場とその性格 ——

第一節 間取りと屋敷まわり その1 —— 江戸時代の住宅 ——

1 開発当時の住まい……

消えた草葺き …… かつての間取り …… 江戸中期以後の住宅 …… 建築構造

第二節 間取りと屋敷まわり その2 —— 青梅街道沿いの住宅 ——

1 街道沿いの家の屋敷まわり……

屋敷林 …… カワと「たから」 …… 茶垣 …… 曳き家 …… イロリ

2 街道沿いの家の間取りと屋敷まわり空間の例……

青梅街道沿いの家 その1 …… 間取りと住まい方 …… 青梅街道沿いの家 その2 …… 草葺き屋根の葺き替え

第三節 間取りと屋敷まわり その3 —— 回田新田の住宅 ——

1 草葺き民家の暮らし……

草葺きの家 …… 屋敷とそのまわり …… オモチとウラ …… 家の中にかまえるもの「向き」 …… 空間の性格

ダイドコロ空間 …… イロリのある空間 …… 食の空間 …… 風呂場 …… 貯蔵空間 —— 馬屋から漬物・味噌空間へ ——

ザシキ空間 …… 結婚式の空間 …… 縁側

2 屋敷まわり……

屋敷まわりの建物 …… 内墓と先祖 …… カワバタ …… 用水から井戸水へ …… 二寸の水利権

第四節 間取りと屋敷まわり その4 ——昭和三十年代以降の住宅

1 昭和三十年代の草葺き民家の空間の変容

ドマの改築 宅地化への移行 旭ヶ丘住宅の暮らし 都営住宅 あかしあ通りの住宅

352 352

第四章 暮らしと技術

第一節 衣と食

1 衣生活

和服と洗い張り 着物の仕立てと着物揃え 特別の日の着物 野良着 履き物 呉服屋・反物商人

363 363

2 食生活

登校の着物と履き物 奉公と仕着せ 洋服屋

378

普段の食事 沢庵漬け 御馳走 餅つき・雑煮 お茶菓子 食器と食卓 弁当 味噌・醤油作り

食の装置と燃料

第二節 生産技術と農具

1 生産技術

江戸時代の作物と肥料 現在の作物と肥料——畑土の残留効果—— 化学肥料

395 395

	かつての農業技術とそのサイクル	
2	麦作りにおける技術と農事暦	402
	麦の種類 麦作の間作のさつまいもと里いも 麦蒔き 麦踏み、株間の土入れは裸足で 麦の間作	
	三種の麦の収穫 麦刈り 脱穀・乾燥 重なる麦、養蚕、製茶の繁忙期 盆休み以後	
3	戦前のさつまいも作り	410
	営農からみるさつまいも 苗床 種いもを伏せる 苗の植付 さつまいもの施肥	
	つるきりから収穫へ 貯蔵・梱包	
4	模索のなかで	416
	モロキュウリ作りへ 手さぐりの栽培 肥料の配分	
5	軟化ウド作り	419
	見よう見まねで ウドの軟化ムロ作り 伏せ込み・水かけ 温度を上げる ウドの根株を育てる	
6	農具	422
	鍬でウナイ、サクリ、サッキリ 鍬の柄角、柄長、重さ 鍬の所有数と購入 鎌の種類 鎌の刈り方	
	素材としてのワラと竹	
第五章 人と物の動き		
第一節 農間稼ぎと諸職 — 街場をもたぬ地域 —		
1	小平と商業	435

分散している街場 小平の市

2 電気、電話の普及……………441

電気が引かれる 電話を必要とする家 電話を引くこと

3 家々の屋号……………446

多様な性格

第二節 農家から商店へ 農民から職人へ……………450

1 農家から石工へ……………450

小平の職人 家と墓 墓石を彫る

2 半農半職から材木店へ……………453

桶屋からの転職

3 農家から漬物製造へ……………455

五十人の季節労働者 大根買い付け 出荷と販売

4 農家から米穀店へ……………459

様々な試み

5 街道筋の製茶業……………461

住み着いての開業

6 造酒屋の転入……………465

杜氏から蔵元へ
テーラーとして戻る

第三節 人の往来・物の往来

1 日常の買い物

所沢の町

2 むらに來る人

行商人の動き

3 農作物の出荷

市場へ
運転免許取得

4 竹を売る

安松の竹細工

5 往時の西武鉄道

「草小金井」の駅
下肥の輸送

第四節 人のつながり

1 迎えられる人
縁深い土地
明治初期の婚姻圏

婚姻圏にみる地域

2 農家と作代

483

480

480

476

475

472

470

468

468

第六章 都市化のなかの祭り —— その停滞・復活・生成 ——

第一節 氏神とその祭り —— 現状と概観 ——

- 1 小平神明宮（小川町一―二五七三）……………
由緒来歴 祭り 492 487
- 2 日枝神社（小川町一―三〇三）……………
由緒来歴 祭り 497
- 3 熊野宮（仲町三六一）……………
由緒来歴 祭り 499
- 4 武蔵野神社（花小金井八―二六一―一八）……………
由緒来歴 祭り 502
- 5 上水南町稻荷神社（上水南町一―二―一五―五）……………
由緒来歴 祭り 504
- 6 上鈴木稻荷神社（上水本町二―六―一四）……………
由緒来歴 祭り 506
- 7 鈴木稻荷神社（鈴木町一―五二〇）……………
由緒来歴 祭り 509

8	大沼田稻荷神社（大沼町七二二一） 由緒来歴 祭り	511
9	氷川神社（回田町一三六） 由緒来歴 祭り	513
10	小平駅前稻荷神社（美園町一七二〇） 由緒来歴 祭り	515
11	寺院境内にあるお社 多摩野神社（天王様） 秋葉社	517
第二節 祭りの停滞と復活		
1	神輿渡御中止から復活時にかけての小平（昭和三十年代～五十年代） 新しい環境への対応 神明宮と八雲祭の概略 平成二十一年の八雲祭 神輿渡御の中止時期 神輿渡御の復活 神輿渡御復活の立役者	520 520
2	祭りを支える組織 神社の氏子と睦会 神明宮小川睦会 府中との関係 太鼓の講中 工夫とルール	533
3	住民からみた祭りの変遷 神明宮の氏子総代経験者 武蔵野神社の氏子総代経験者	547

第三節 新しいまつりの生成 —— 地縁の再構成と町おこし……………551

1 小平町から小平市へ（昭和三十年代～四十年代）……………551

衛生環境を見直す 家庭や労働を見直す 市民まつり誕生の経緯 小平市誕生と市民まつり

商店をめぐる試み 学園坂商店会 商店街のまつり——学園坂商店会の事例——

2 新たな地縁の模索 —— 青年会、婦人学級、県人会……………566

旧来の社会教育団体 公民館活動としての青年学級 公民館活動としての婦人学級 県人会の活動

3 小平に根づく人々……………573

青年会で活躍する 女性からみた小平の暮らし

第七章 暮らしと信仰

第一節 様々な講……………581

1 社寺参詣の講……………581

お札と小祠 御嶽講 榛名講 戸隠講 成田講 代参講

2 生活のなかの講……………590

講の現在 うどん講 念仏講

第二節 屋敷の神々……………591

1 屋敷に祀られる神の種類……………591

「竈神祭覚」 屋敷神の消長

2 屋敷神のいわれ……………596

青梅街道に沿って

3 屋敷神の祭り……………601

初午の日に

第三節 家の一年……………603

1 ある家の一年の行事……………603

暮らしの節目 市域南部の農家で

2 家の行事の現在……………609

行事の諸相 年末——ミソカッバライ—— 正月 蘭玉 エビス講 節分——鬼の宿—— 盆

十五夜・十三夜 オカマノダンゴ

第八章 人と人のつながり

第一節 市域の区分と名称……………618

1 字から町へ……………618

旧字の改正 様々な町名

第二節 地縁のありさま……………	624
1 葬儀の互助組織……………	624
変容と解体 両隣と向かいの家 組、組合、大組 葬儀を出す 床番 議会の議事録から	
2 地域と婚姻……………	644
はしをかける 結婚の日	
第三節 地縁の諸相……………	649
1 水と地域……………	649
井戸 沼さらい 山の利用	
2 家と長男……………	654
本家と分家 家のつながり	
3 青年団と消防団……………	656
制度化される慣習 受け継がれる出初式	
第四節 変化のなかで……………	661
1 「来たりもん」……………	661
「植民地的風景」	
2 自治会組織へ……………	663

第九章 新田集落景観の変化

第一節 街道沿いの家々……

1 道と暮らし……

短冊状の土地割り 馬と青梅街道 ジャリと暮らし

667 667

2 暮らしと都市計画……

受け継がれるもの 変化のパターン

674

第二節 商店街の成立……

1 商工会と行事……

商店の変化 イベントをうつ

679 679

2 動き出す店主……

鈴天商店会 子どもみこし 盆踊りの定着 ふとん店開業

683

3 小平に店をかまえる……

商店街の消長 燃料店開業 燃料店の暮らし 多角経営へ 山梨から移り住んで 食料品を売る
銭湯の隆盛 銭湯の一日

689

第三節 宅地化が生んだもの

1 見なれた風景

道の名称 小さな公園

702 702

第十章 都市化・宅地化のものと営農

第一節 農業を続ける家

1 開発と保全の間で

都市のなかの農地

711 711

2 転用される農地

農地転用と相続 多様になる生計

712

3 現在の土地利用

アパートと駐車場 市民菜園 畑の区画 機械化とサク 作付 農業への姿勢

715

第二節 栽培作物と農作業

1 栽培作物の移りかわり

種々の商品作物 梨の導入 梨作りの変化 サツマアナからウドムロへ 出荷時期の拡大

723 723

2 様々な作付

畑の個性 作付の変遷 愛着のある作物

730

3	市販の農業資材の使い方	741
	被覆資材 土地割内の運搬 手製の道具 鳥獣害への対応	
4	都市のなかの自給	752
	堆肥の変化 麦と陸稲のワラ マダケの利用	
5	近隣への気配り	757
	農業のにおい 防除	
第三節 栽培作物のゆくえ		
1	農作物の売り方	760
	市場への出荷 引き売りという選択 昭和三十五年の販売方法 現在の販路	
2	農家の庭売り直売	767
	庭売り直売のきっかけ 防犯への対応 集客のために お客さんと向き合う 作付が変わるとき	
3	共同直売所と農協	778
	共同直売所	
第十一章 伝説・昔話・民謡		
第一節 伝説・昔話		
1	語りつがれた話	781

これまでの記録活動

2	古老の手記から	782
3	いくつかの狐の話	784
4	世間ばなし	792
	語りつがれる事件「できごと」	
5	地名にかかわる伝説	800

第二節 民謡

1	鈴木囃子	810
---	------	-----

民俗編 卷末資料

資料の概要

①	地元の方を訪ねて	827
②	自分史 自平成十七年五月三十日	855
③	小平のブルーベリー栽培について	862
④	昔の小平言葉を振り返って	865
⑤	西田泰三「小平市無形文化財 鈴木流囃子覚記」(抄録)	871

民俗編 参考文献……………

資料提供者・提供機関及び協力者・協力機関

執筆担当者

市史編さん関係者

付 図

(1)小平市土地条件図

(2)鈴木遺跡の発掘調査地点